

7. 「21世紀型の退職金制度」の制度運営(確定拠出年金)

DC委員会

目的

確定拠出年金制度の内容の周知徹底と、各人の資産運用に対する意識を高めると共に、制度運用のブラッシュアップを図る。

構成

労使の代表として労使各5名の委員を選出。

運営

原則として月一回委員会を開催。
議論の内容により、必要な事項は労使協議会に持ち込む。

7. 「21世紀型の退職金制度」の制度運営(確定拠出年金)

DC委員会

課題

- ①運用環境の低迷により、社員の運用に対する意識が高まらない。
- ②商品の運用成績がほぼ揃って低迷している。
- ③同一商品で手数料の異なるものが出てきている。
- ④運用商品(インデックス)の突然のファンド規模の縮小。

施策

- ①社内イントラネットを活用し、FAQ形式による意見交換の場を設定し、各人がいつでもアクセスし、質問を寄せる。
- ②商品の追加に向けて、モニタリングを開始。
- ③商品追加の検討。
- ④金融機関の信用問題として追及。

8. 確定拠出年金制度の浸透と拡大に向けて

今後の課題

1. 掛金上限額の検討
2. マッチング拠出の検討
3. 脱退一時金の適用
4. 残高を利用した貸付(ローン)制度の検討
5. 個人型管理手数料の検討
6. 特別法人税は制度の趣旨と適合しない?